

虚空藏菩薩と蓮長法師の祈願

武 田 快 照

虚空藏菩薩は觀世音菩薩のやうに古來日本民族間にも普く信仰されてゐた菩薩であるから、恐らく知らぬ者はないであらう。殊に日蓮宗とは切つても切れぬ深い關係がある。けれども虚空藏菩薩とは如何なる菩薩であるかを悉知してゐる者は少い事と思ふ。故に菩薩の事に就いてほんの道しるべだけを述べ而して後の日蓮聖人たる蓮長法師の虚空藏菩薩信仰にふれて見よう。

虚空藏菩薩は梵名アーカーシャガルブハの漢譯で虚空孕菩薩と翻譯されてゐる。智慧の庫藏廣大無邊なる事虚空の如く、大慈悲一切の功德を包藏する事虚空のやうであるから虚空藏菩薩と稱せられると諸經にある。實に虚空は無上の存在であり、寶藏は欲する者にをしみなく施して盡さないものである。虚空藏菩薩も亦是の如く一切衆生に無量の智慧を與へ無盡の大慈悲を施し自在に受用して窮りがないのである。

菩薩には本化迹化此土他土の別がある。虚空藏菩薩は他土より娑婆世界に來て衆生救濟をするから他方來の菩薩である。しかし菩薩とは佛子である。此土他土と別けて考へるのもよいが事實はあらゆる人々が悉く菩薩なのである。悉く吾子とあるから人類皆菩薩。この意味で虚空藏菩薩は現に史上の人物でないから實在しない迹化他土の菩薩だと云ふ事はできない。信仰の世界と歴史の世界は別である。史上著名の人であらうと無からうとそれは問題にならない。注意すべきはその菩薩が如何に吾人の日常生活に影響し、亦その模範となるかにある。

原始佛典にも生天思想彌勒信仰の萌芽はある。後の發展佛教たる大乘教典には廣く十方諸佛の信仰が非常に濃厚に表現されてゐる。虚空藏菩薩に關する佛典は殆んど大乘經である。殊にその方等部の聖典に多くの散説を見る。就中大集經虚空藏品が一番詳しい。

世尊大衆に仰せられ玉ふよう。

東方八佛世界微塵數の佛土を過ぎて大莊嚴國がある。この淨土の一寶莊嚴如來は今現に多くの大菩薩衆の爲に妙法輪を轉じて居る。大菩薩衆の中には衆生救濟の自在神通力無碍知辨を有する虚空藏菩薩が居る。この菩薩は十二億の菩薩を引率して娑婆世界に來たり私を禮拜し供養し、娑婆世界の人々を如來の法を以て救濟し諸魔外道を調伏しようとしてゐる。今現れて居る虚空の光明はその瑞應であ

る。

虚空藏菩薩一念の間に娑婆世界に來たり莊嚴寶臺上に現れ、紅白の蓮華を雨らし供養し佛を禮拜して申上ぐるよう。

世尊よ、御壯健でせうか、一寶莊嚴如來から宜しく仰せられました。どうぞ是の菩薩衆の爲に御說法なさいまし。昔より世尊の御教化に預つて居る菩薩ですから。大慈悲如來の本願力よく衆生を救ひ玉ふ。

世尊大菩薩衆に告げ玉ふよう。

虚空藏菩薩は戒を持つて衆生救済の本願を成就し、大願を成就してなほ戒をまもる。初中后持戒清淨なる事虚空の如くである。この戒律と本願力により火に燒けず水も漂す事はできない。正法を受持し諸佛を供養し大菩薩行に精進する無量の功德は虚空と等しい。一切衆生の蒙る利益は皆虚空藏菩薩の願力による。虚空藏菩薩の願力は如來の本願力である。故に菩薩の教化救済みな諸佛の法である。法とは無上大乗妙法であり、救済は世間法に即する佛法の救済である。虚空同量の心行世法即佛法の無上大乗妙法を成就した虚空藏菩薩の功德は無量無邊である。世間の生死を捨てずして大菩薩衆の爲に佛法を説く。一切の法は皆是れ佛法である。正法を受持し大慈悲救済自ら身命を惜まず常に教化傳

道して倦まない。如來の一切法を悉く記憶し、無量の言語文字了義不了義眞諦俗諦第一義諦等自在に分別解了し無礙辯を以て解説する。慈悲智慧神變神通福分無量無邊である。これ皆如來秘密神通力である。自在に生死を示現して衆生を救ふ。正法を受けず誹謗し報恩を知らぬ惡魔を金剛寶劍を以つて推殄する。また佛なき國に行つては八相を現じて衆を度する。

彌勒菩薩虛空藏菩薩の過去談を訊ねる。

世尊答へ玉ふ。

虛空藏菩薩は今より無量恒河沙塵点劫の昔大菩提心を發したのである。無量無邊の佛土を微塵として塵々を一劫として數へたよりも昔淨一切願威德勝王如來迦陵の妙法を説き一會の大衆中の轉輪聖王が大菩提心を發した。この王とは今の虛空藏菩薩であり、大衆とは今の大力大智菩薩等である。菩薩はこれ以來弘誓の本願如來の不行を修する事無量劫の間毫も疲倦しない。菩薩の心地は大地の如く一切善根を生じ、その大慈悲は水の如く一切衆生を潤す。八万四千の三昧あつて万能虛空の如くである。これを聞き舍利佛等五百の聲聞大菩提心を發す。これより虛空藏菩薩無礙辯を以つて法輪を轉ずる事縱横無盡、天より花ふり自然の音樂聽え佛と佛子を讚美し、梵天帝釋天魔悉く來下して聞法席に連る。この菩薩の神變をみて集る大衆に世尊妙法を説き玉ふ。佛法を信ずれば天魔破旬も佛となる。こ

れを如來滅後に弘通せよ。末世法滅時この妙法を持つは虚空藏菩薩の威力によると。

その時功德菩薩、後五百歳法滅時廣く此妙法を弘めやう。佛法を久住さす爲に。と釋尊を禮拜し合掌しながら申し上げる。

これで見ると虚空藏菩薩は東方大莊嚴國の菩薩であり、虚空藏菩薩陀羅尼經も同説であるが、虚空藏菩薩經、虚空孕菩薩經と同本異譯なる虚空藏菩薩神咒經及び大日經には西方一切香集依世界勝華敷藏如來の菩薩と説く。

虚空藏菩薩娑婆來臨の説相は諸經大同少異である。菩薩此の世界に來るや娑婆世界は七寶莊嚴の淨土となる。山河草木光明にみち、病痛一切諸苦消除し、衣食具足し殿中采女溢れ皆皇后の相あり五樂を奏し菩提を讚へ聞く者悉く大菩提心を發す。それから法華經觀音品の説と似てゐる佛説がある。一度も虚空藏菩薩のみ名を稱へ懺悔する者は根本重罪消滅し一切病苦根絶す。その名を聞く者すら水不能漂火不能燒刀不能傷毒不能害無病無飢渴であつて、臨終には菩薩十方佛と共に現じてみ手を授け玉ふ。亦欲する者は彌陀の淨土に生れて佛をみる。愛別離苦等の四苦八苦、寶藏を求めて海を渡り盜賊に遇ひ、獅子虎狼蛇等に遭はゞ虚空藏菩薩の名を稱へよ。彼等皆慈父悲母の想を起す。自身を示し他身を現じて衆生を救ふ虚空藏菩薩の智德神通無量不可説である。——虚空藏菩薩問七佛陀羅尼經も同

説——虚空藏菩薩は文殊菩薩の如く智慧の菩薩であるが、慈悲も觀世音菩薩と比肩してゐる。千手經には當知虚空藏菩薩常以空慧視衆生とあつて、其智慧は諸典多く空慧であると説く。

提婆品の今皆修行大乘空義の空思想であらう。しかるに羅什三藏の注維摩には虚空藏菩薩實相慧藏虚空の如しとある。これによれば法華經の諸法實相の思想である。虚空藏菩薩が自他身の無量身相を示現し衆生救済の如來行を修し、一度稱名する者には無量の智慧と福壽を授け諸苦を斷除する事は妙音菩薩觀世音菩薩と等しい。虚空藏菩薩念誦經には一度念じ一度稱すれば所得の功德智慧福壽虚空の如しとある。

觀虚空藏菩薩經には佛説の形相がある。

無量身を現じて衆生を救済する虚空藏菩薩の大身は觀世音菩薩と等しい。一度も虚空藏菩薩を念じ名を稱へれば衆生を愍念してその妙身を示現す。金色燦然たる菩薩の頂上には十方諸佛顯現の如意寶珠——この中に菩薩の天冠を見る。天冠には別に三十五佛があらわれてゐる。——佛説虚空藏菩薩陀羅尼經も同——虚空藏菩薩能滿諸願最勝心陀羅尼求聞持法經には金色身寶蓮華台上に半坐し容顏喜悅寶冠上五佛あり、左手に花上如意寶珠ある白蓮華を持つ。大日經には白服刀を持つとある。大疏には此菩薩如來と等しき智慧あり。大寶劍を持つは智慧の標幟、服白衣なるは持戒清淨無垢なる事を明す

と譯してゐる。

五大虚空藏菩薩は別に五菩薩あるのではなく一虚空藏菩薩の功德を讚歎する爲に別勸請したものである。——その形相別は略す——

前述の如く其の住所は東西兩説——經説——あるが金剛界曼荼羅には賢劫十六尊中に坐し、胎藏界曼荼羅は第六釋迦院と、第十虚空藏院の中尊である。

宿曜儀軌に若し人福智を求めんと欲せば此菩薩に歸依せよ。日月星皆虚空藏菩薩の所變とある。文句卷一にも明星天子は之虚空藏菩薩の作とある處からみると虚空藏菩薩は三光信仰の神格化ともみられる。摩利支天が陽炎の人格化であるやうに、菩薩と三光の關係は支那佛教に行れた事は空海傳に海求聞持法を得て阿州大龍岳に嚴修す。天晴朗寶劔座前にあり。明星飛んで口より入る。聞持成就とあるのに明かである。この聞持經には虚空藏菩薩に祈願すれば一度耳目に入るものに記し永く忘失せず。諸福計り無けんとある。

虚空藏菩薩は慈悲と智慧を兩具し衆生にをしみなく施與し玉ふ。

本尊問答鈔の生年十二同郷の内清澄寺と申山にまかりて……たまく佛菩薩に祈請して一切の經論を勘へて十宗に合せたる〔P.1803〕清澄山は奈良朝時代實龜二年不思議律師の開山、(日蓮聖人の生涯説)慈

覺大師の中興で台密系であるから、本尊は虚空藏菩薩であつた。光日房御書斷片には予は且知召され候が如く幼少の時より學文に心を懸けし上大虚空藏菩薩の御寶前に願を立て日本第一の智者となし給へ。十二の年より此願を立つ。其の所願に子細あり。とあるから祈願の事はすでに光日尼が知つてゐた。また善無畏三藏鈔には幼少の時より虚空藏菩薩に願を立て云く日本第一の智者となし玉へ。虚空藏菩薩眼前に高僧とならせ給ひ明星の如くなる智慧の寶珠を授けさせ給ひき。其のしるしにや日本國の八宗並に禪念佛宗等の大綱粗伺ひ侍りぬ。〔P.58〕此諸經論諸宗の失を辨へる事は虚空藏菩薩の御利生と當時の實況を描寫してゐる。また清澄寺大衆中には

生身の虚空藏菩薩より大智慧を給はりし事ありき。日本第一の智者となし給へと申せし事を不便とや思し食けん。明星の如くなる大寶珠を給ひて右の袖にうけとり候し故に一切經を見候しかば八宗並に一切經の勝劣粗是を知りぬ。……此惡眞言鎌倉に來りて又日本國を亡さんとす。其上禪宗淨土宗などと申は又いふばかりなき僻見の者なり。此を申さば必日蓮が命と成べしと存知せしかども虚空藏菩薩の御恩を報ぜんが爲に建長五年四月二十八日安房國東條郷清澄寺道善之房持佛堂の南面にて淨土房と申す者並に少々の大衆にこれを申はじめて其の後二十餘年が間退轉なく申す。〔P.1370〕と仰せられて虚空藏菩薩の御利生を感謝されて居る。

清澄山の虚空藏菩薩は慈覺以來顯密雜亂の台密思想の信仰を捧げられてゐた。それが日蓮聖人によつて正法護持の菩薩であると云ふ事が明瞭になつたわけである。それと同時に明星の如き智慧の寶珠は日蓮聖人の生涯を光あらしめてゐる。日蓮聖人の信仰には久遠の本佛が生きてゐたやうに、智慧の寶珠を授けたる虚空藏菩薩が生きて居つた。叡山及び後の傳道法論の場合も虚空藏菩薩の智慧が輝いてゐるといふ自信力をもつて居たから諸宗の學者をみる事小兒の如くであつた。

民の家より出でて頭をそり袈裟をきたり。此度いかにもして佛種をも植へ生死を離るゝ身とならんと思て候し程に皆人の願せ給ふ事なれば阿彌陀佛をたのみ幼少より名號を唱候。いさゝかの事ありて此事を疑し故に一つの願をおこす。日本國に渡れる處の佛教並に菩薩の論と人師の釋を習ひ見候はゞや——此等の宗々技業をばこまかに習はずとも所詮肝要を知る身とならばやと思ひし故に〔P.170〕虚空藏菩薩に御祈願遊ばされたのである。

是等の御書に依れば虚空藏菩薩を日蓮聖人が幼少の時より信じてゐた事が明かである。その菩薩信仰の目的は一代佛教の歸趣を究め一切衆生を救濟せんとする若き蓮長法師の切なる上求菩提下化衆生の理想實現にあつた事は云ふまでもない。

日月星は虚空藏菩薩の所變なりと云ふ信仰からみれば後年龍口に現れたる月天子、依智本間家の梅

に下る星天子は虚空藏菩薩の靈驗であらねばならぬ。

種々御振舞御書に月の如くなる光物……天より明星の如なる大星下りて前の梅の木の枝にかゝり。
〔P.1397〕とあるのに明かである。

また佐渡に於ては光日房御書に天の加護を信じて、日月我をすて給はずばかり入りて又父母の墓をも見るへんもありなんと心づよく思ひて……本國へかへし給へと高き山にのぼりて大音聲をはなちてさげびしかば……文永十一年二月十四日の御赦免狀同三月八日に佐渡の國につきぬ〔P.1416〕と仰せられてゐる。

なを智慧の光明を確信しては義智者にやぶられずば用ひじ〔P.816〕と喝破し、身延に入つては蒙古退治を天に祈られたのである。實に日蓮聖人の御一代は虚空藏菩薩の祈願に始まりその驗應に終つてゐる。

迹化他方の菩薩として一概に排斥する事をやめよう。妙法によつて開顯せられたる菩薩は迹化すら斯の如く正法護持の爲に御活動遊ばされる。自ら本化地涌の菩薩なりと名乗る日蓮門下生よ、大いに反省しなければなるまい。

——四、十、十三——